

草のよしだやかから版

2020年 秋号

VOL31

風が少し涼しくなり、秋の深まりを感じられるようになりました。山の木々も色付き始めています。密を避けながらのご近所の散策でも、さまざまな形のどんぐりを見つけたり、秋色の葉に心を奪われたり、この季節はちょっと芸術家気分を味わえて楽しいですね♪。お庭の寄せ植えもいつもの花苗に、銅葉やパープル、ブラウン系等の葉色のカラーリーフを足すと、ちょっとオシャレに見えておススメですよ♪

吉田 龍
ガーデニング専門学校
の講師をしております！



お手入れのお話:

剪定の話



剪定は適期に行うと花芽を切り落とす心配がありません。春に花を咲かせる樹木（例えばハナミズキ、ツツジ類）は、すでに花芽が出来ているので、切り落とさないように注意しましょう。樹木が大きくなりすぎて小さくしたい場合でも、枝先を残すことで、来年のお花を完全に諦めることなく樹形を整えることができます。

また、落葉樹は12月～が剪定にオススメに季節です。これからの時期、養分が幹や主枝に集ります。そのため剪定の切り口から樹液が流れずらくなり、樹木に負担をかけず剪定を行えます。樹種によって適期が異なりますので、お庭の木の剪定時期について知っておくと気持ちも楽になりますよ♪

赤い果実の話



お庭に植えた覚えのないナンテンやマンリョウ・・・が育っていませんか。鳥が運んだ種子から知らぬ間に生えた植物たち。秋から冬に見かける赤い果実は、葉の緑色と赤色のコントラストがより美しく、冬の景色に彩りを与えてくれます。ソヨゴ、アオハダ、ナンテン、クロガネモチ等。

鳥も寒くなり虫の少なくなるこれからの季節は、多くの果実を食べ、フンと一緒に種子を遠くに運びます。どこから来た種子なのか思いを馳せるのは楽しいですが、知らぬ間に大きくなり過ぎることもあるので気を付けてくださいね。